【Press Release】

2017 年 3 月 16 日
Steelcase Inc.（スチールケース社）

STEELCASE グローバルレポート※1

世界の従業員エンゲージメント※2と職場環境実態（日本）

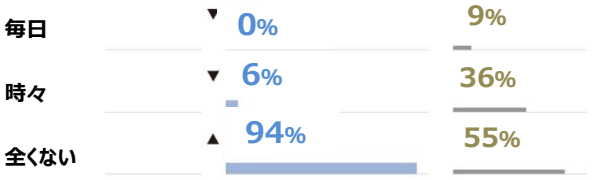
世界最大のオフィス家具メーカー、スチールケース社（本社：米国ミシガン州）は、世界 20 ヶ国（14,903 人、従業員数 100 人以上の企業）のワーカーを対象に、従業員のウェルビーングおよび企業業績の指標となる従業員エンゲージメントと職場環境との相関関係を把握するための世界初の調査を実施しました。その結果、**日本は、従業員エンゲージメントと職場環境満足度が最低で、他のどの国よりも職場への不満が多く、執務環境に対する感じ方も最も低い**ことが明らかになりました。

≪日本の職場環境について≫

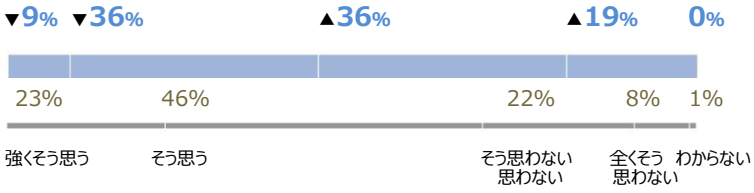
- オープンな執務スペースで仕事をしている割合が 78%（平均※3 23%）と最も多く、自席を持たないモバイルワーカーは 21%（平均 8%）である。
- ノート PC の利用率は 59%と最高（平均 39%）だが在宅勤務などの遠隔ワークは 9%と少ない（平均 55%）。
- オフィスにリフレッシュエリアがあるのは 51%と比較的高い（平均 45%）が、充分な数の会議室があるでは 37%（平均 70%）、プライベートスペースも 16%（平均 53%）と最低である。
- 職場環境の質に対する評価は 10 点中 5.4 で最低である（平均 6.6）。
- 職場環境を気に入っている人は「強くそう思う」9%、「そう思う」36%で最低（平均 23%、46%）である。
- 会社が従業員の能力を最大限に引き出していると思うのは 39%（平均 63%）、従業員の価値を認め、尊重していると思うのは 34%（平均 56%）と最低である。

◆オフィス全体のレイアウトは？

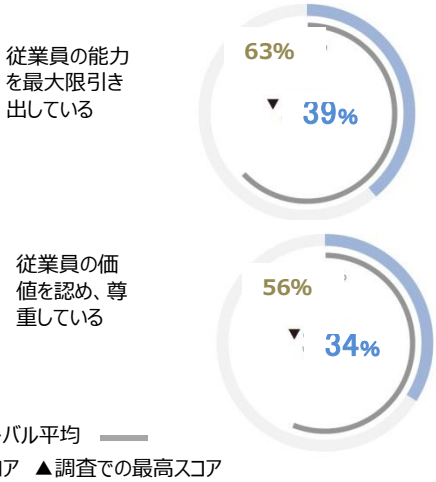
◆遠隔ワーク： オフィス外で仕事をする頻度は？



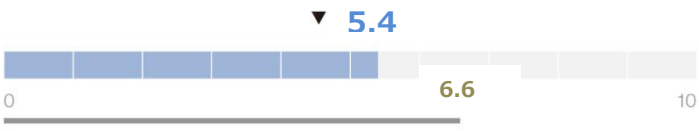
◆職場環境に対する感じ方： 職場環境を気に入っていますか？



◆企業の風土や文化に対する感じ方：
あなたの会社おいて以下はあてはまりますか？



◆職場環境の質： 10 段階評価



日本 グローバル平均
▼調査での最低スコア ▲調査での最高スコア

※1）グローバルの対象国は先に調査を行った 17 ヶ国（アラブ首長国連邦、ベルギー、カナダ、中国、ドイツ、スペイン、フランス、イギリス、インド、メキシコ、オランダ、ポーランド、、ロシア、サウジアラビア、トルコ、アメリカ、南アフリカ）
※2）エンゲージメントとは従業員が企業の目標達成に向けて、自発的に自らの力を発揮し貢献しようとすること。それによって従業員も成長するという考え方。今日、人事や組織開発の分野で幅広くも強いられている経営用語。
※3）上記 17 ヶ国の平均値

日本は、オープンな執務環境のオフィスが世界平均の 3 倍以上、島型対向式レイアウトが多くを占めています。ノート PC の利用率が高い割には遠隔から仕事をするリモートワークは稀で、管理職は 1 日を通してチームに近いところに自席を持ち、メンバーを管理しています。

多くのオフィスには十分な会議室やプライベートなスペースが設置されていませんが、リフレッシュエリアが設置されているオフィスは 51%と高い割合です。

日本のワーカーは他のどの国よりも、職場への不満が多く、執務環境に対する感じ方も最も低く、過密状態のオフィスは雑音の抑制や換気配慮、系統立てたスペースづくりも困難で、オフィス家具にも強い不満が見られます。

日本では 1 日を通してオフィススペース内で簡単に身体を動かして姿勢を変えることができますが、働く「場」のチョイスは極めて少なく、大部屋でのオープンで過密な空間の中では集中も難しく、頻繁に作業が中断されることも多い環境です。

オフィスが刺激的、革新的であると答えたワーカーは 5%、日本のワーカーが、会社が従業員の価値を認め、尊重していないと感じるのも驚くことではないのでしょう。これは長時間働いているにもかかわらず、会社が従業員の能力を最大限に引き出していると感じる人が 39%だけに留まっている数値にも表れています。

≪エンゲージメントと職場環境満足度≫

調査対象国との比較において、日本はエンゲージメントも、職場環境に関する満足度も最も低いという結果になりました。

「仕事に行くのが楽しい」や「自分の会社を推奨できる」といった項目は著しく低いですが、約半数（52%）は「同僚との連帯感を感じる」と答えています。これは平均値の 76%よりもかなり低いものの日本のエンゲージメント指標の中では最も数値が高い項目です。また、3 分の 1 は「職場が楽しく落ち着ける」と答えており、これは世界平均を超えるもので、おそらくは集団における秩序や調和を重視する日本的文化も要因していると思われます。

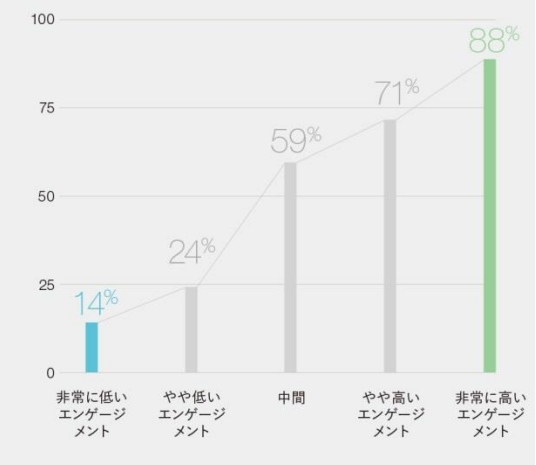
調査全体からみるとオープンなオフィス環境の中、集中できるスペースやプライベートな空間を時により利用できるかが満足度を高めるのに影響しているようです。

職場環境に対する感じ方	日本	グローバル
ストレスがたまる	23	35
楽しい	37	25
官僚的	21	25
刺激を感じる	5	20
魅力的	12	20
没個性	13	18
本物感がある	16	16
活動が制限される	14	16
落ち着く	30	12
見た目が良くない	7	7
革新的	2	20
冷たい感じ	8	13
		(%)

職場環境エンゲージメントの評価基準	日本	グローバル
同僚との連帯感を感じる	▼52	76
仕事に行くのが楽しい	▼35	71
今の会社で働くことに誇りを感じる	▼45	69
仕事にやる気が持てる	▼48	68
仕事に達成感がある	▼51	67
自分の会社を推薦できる	▼34	63
企業文化を尊重できる	▼46	63
会社の戦略と法王性を支持している	▼40	63
会社での自分の将来を楽観視している	▼39	60
▼調査での最低スコア		(%)

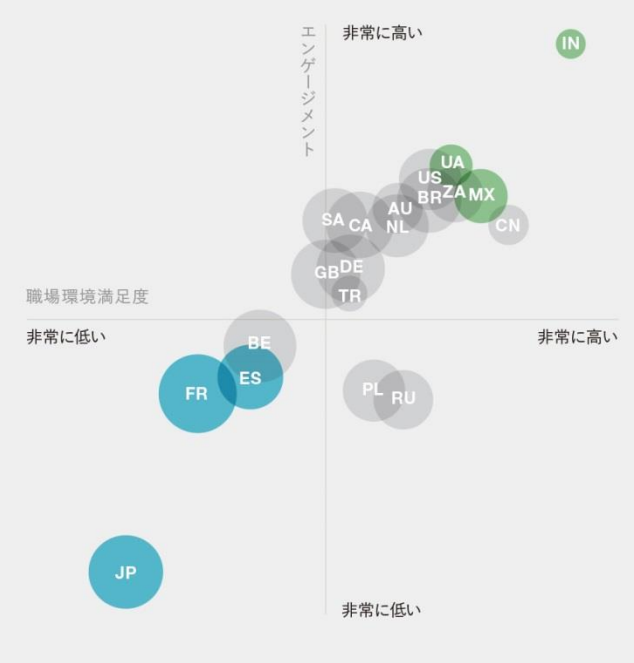
職場環境満足度の評価基準	日本	グローバル
作業に応じて働く場所を選択できる	41	51
同僚と交流できる	62	75
簡単に集中できる	▼48	66
邪魔されることなくチームで仕事が出来る	▼42	58
1日を通して異なるスペースを動きながら仕事が出来る	67	77
1日を通して姿勢を替えられる	76	75
会社への帰属意識を持てる	▼44	66
自分のアイディアを容易にかつ自由に表現、共有できる	▼54	66
プロジェクトや功績を共有できる	48	61
会社の情報がリアルタイムで分かる	▼43	70
遠隔ワーカーを校了している	▼22	56
リラックスして落ち着ける	41	59
来客を配慮している	▼47	66
▼調査での最低スコア		(%)

◆オフィス内で作業に応じて働く場所を選択できますか?



カジュアルでリラックスしたワークカルチャーや、より快適でサポート力の高い仕事環境を創出することが、高い従業員エンゲージメントとパフォーマンスへとつながることは間違いありません。

≪エンゲージメントと職場環境満足度の対象国比較分布図≫



エンゲージメントが最も高いワーカーは、新興国に多く、エンゲージメントが最も低いワーカーは先進国に多い傾向があります。データを解析すると、ワーカーの居住国やその文化的背景、期待度が、エンゲージメントレベルや職場環境への満足度に大きく影響していることが分かります。もちろん、例外もありますが文化的背景がワーカーの会社や職場環境に対する意識や態度を左右していると思われます。そして、ワーカーが満足感を感じ、高いエンゲージメントで仕事ができる「場」を見つけることができるかどうかはこれによるところが大きく、本調査での発見事項は、今後、グローバルに事業を展開する多国籍企業が世界の様々な地域でオフィスを計画する際の参考にしていただけるでしょう。

非常に高いエンゲージメント＋満足度
インド 28%、メキシコ 22%、アラブ首長国連邦 20%
非常に低いエンゲージメント＋満足度
日本 1%、フランス 5%、スペイン 7%

◆従業員エンゲージメントと職場環境の実態調査レポートについての詳細は、添付をご覧ください。
※、なお、調査は当初 17 カ国を対象に実施して 2016 年 3 月に公表し、その後、日本、オーストラリア、ブラジルの計 3 カ国を追加して調査しています。したがって、添付レポートの前半の調査結果概要は 17 カ国の結果が反映されており、17 ページから日本の調査結果となります。

当調査について ： スチールケース社は、今日の従業員のウェルビーングと企業業績の強力な指標となる従業員エンゲージメントと職場環境との相関関係を把握するために、グローバル市場調査会社である Ipsos 社と提携し、世界的な実態調査を実施した。対象参加者の数はマクロでの動向を示すと同時に、例えば、回答の画一化を排除する個人の独特な嗜好や見解も適切に反映されている。調査データは人々がどう働いているかの理解を深めるインサイトを導きだし、広義でのパターンを明確に特定している。この調査は 100 人以上の従業員を抱える企業のワーカーを対象としている。対象は、20 ヶ国、14,903 人。
対象国は、AE アラブ首長国連邦、AU オーストラリア、BE ベルギー、BR ブラジル、CA カナダ、CN 中国、DE ドイツ、
ES スペイン、FR フランス、GB イギリス、IN インド、JP 日本、MX メキシコ、NL オランダ、PL ポーランド、RU ロシア、SA サウジアラビア、TR トルコ、US アメリカ、ZA 南アフリカアラブ首長国連邦。先に日本、オーストラリア、ブラジルを除く 17 ヶ国で実施、その後 3 ヶ国を追加した。

スチールケース社について ： 創業 100 周年を迎えた世界をリードする米国のオフィス家具メーカーです。常に未来を見据えて「働くこと」を研究し、仕事をする「場」における人間の可能性を切り開くスペースの提案、そして社会的、経済的、環境的な側面からサステナビリティを考慮した家具やサービスの包括的なポートフォリオを提供しています。全世界 800 以上の代理店を含む販売網を有し、グローバルに事業を展開しています。2016 会計年度は売上高 31 億ドルを記録した上場企業です。 詳細は、日本語ＨＰ（steelcase.jp）をご覧ください。